

1997 (平成9) 年

- 1.20 青婦部会
- 1.24～26 第5回スキー交流会 於：理工学部八海山セミナーハウス、参加者 55名。
- 2.1 新年教研集会「大学教員任期制の問題点」、新春のつどい 於：理工学部 731 教室
12 支部 58 名参加。
桜井徹執行委員長挨拶
日本私大教連執行委員長 古賀義弘「大学審議会答申の内容と問題点」
元茨城大学教授 歴史科学協議会全国委員 井本三夫「欧米比較および研究教育課程からの批判」、「大学任期制」導入反対アピール採択
- 2.4 96 年度期末一時金第 3 回団交
大学側第 4 次回答 1.0 ヲ月+0.03 ヲ月+6,000 円 妥結
- 2.13 大学部会
任期制導入反対の取り組みについて
- 2.17 青婦部会、春の旅、第 6 回映画と講演のつどいについて 高校部会、付属高校統一テスト実施日変更について
- 2.20 「付属高校統一テスト実施日変更に伴う要望書」本部に提出
- 2.22 「任期制導入反対」シンポ 高校部会
- 2.24 教宣部会
- 2.26 医学部支部学習会
- 3.3 給対部会、アンケート回収 737 名 11 支部
- 3.10 青婦部会
- 3.13 「組合報」第 163 号記事
「'97 新年教研集会『大学教員任期制の問題点』、新春のつどい」 日本私大教連執行委員長 古賀義弘「大学審議会答申の内容と問題点（講演要旨）」
元茨城大学教授 歴史科学協議会全国委員 井本三夫「欧米比較および研究教育課程からの批判（講演要旨）」
「日本大学新入生の家計負担調査結果（96 年度） 213 万 8,700 円（自宅外通学者）」
「講義・授業の一コマから⑨」
理工学部 石川芳男「『何処が、どう難しいか』をすることこそ」
理工学部 上松英穂「原子力エネルギーの過去と将来」
「第 5 回スキーツアーに参加して」
- 3.22 高校部会
- ※4 大学院工学研究科情報工学専攻（修士課程）設置。
- 4.7 「組合報」第 164 号記。
「97 年春闘の前進を目指して——各支部で検討を！ 大学の将来を切り拓き私たちの生活の原点を見つめる——97 年春闘要求案について（執行委員会案）——」
その 1 賃金・諸手当要求 一律 20,000 円プラス体系是正分 2,000 円
その 2 教育・研究・医療労働 条件の改善について
- 4.26～27 青婦部主催 春の旅「伊豆山菜摘み」（畑毛温泉）
- 5.1 高校部会
- 5.9 「大学教員任期制法案に反対する要請書」を瀬在総長、森田理事長、14 学部長に申し入れ
- 5.10 船橋支部「大学教員任期制」学習会
- 5.13 夏季一時金第 4 回団交
大学側回答 2.35 ヲ月+一律 10,000 円+3,500 円 妥結
- 6.1 青婦部会
- 6.7 高校部会
- 6.10 春闘団交第 5 回
大学側第 4 次回答 0.56% 住宅手当 500 円増
- 6.28 第 6 回映画と講演のつどい 於：理工学部船橋校舎 映画「月桃の花—沖繩戦の実相—」
講演 海勢頭豊 一歌と語りの一時間—
- 7.9 「組合報」第 165 号（第 34 回定期総会議案号）記事
「1996 年度活動報告（案）」
「書記局日誌」
「1997 年度運動方針案」
「日本大学教職員組合 1996 年度決算（案）33 期（1996 年 5 月 1 日～1997 年 4 月 30 日）」

「日本大学教職員組合 1997 年度予算（案）34 期（1997 年 5 月 1 日～1998 年 4 月 30 日）」

- 7. 19 第 34 回定期総会 於：経済学部 2 号館 122 番教室
1996 年度活動報告、1996 年度決算報告、組合結成 30 周年記念事業活動報告、
1997 年度活動方針、1997 年度予算決定、吉田克明（船橋）執行委員長他選出
- 8. 21 高校部会
- 9. 10 給対部会、年末一時金アンケート内容打ち合わせ
- 9. 17 医学部会学習会
- 9. 24 大学部会、大学のプロジェクト答申を巡って
- 9. 26 教宣部打ち合わせ
- 9. 27 高校部会
- 9. 29 青婦部会
- 10. 8 大学部会同 「組合報」第 166 号記事
「日本大学教職員組合第 34 回定期総会 組合活動の基盤は支部活動 大学の未来を語り、組合を大きく発展させよう」
『『日本大学未来創造プロジェクト』 総長、答申書全文公開を明言』
『『任期制導入阻止千葉県大学教職員連帯集会』 開かれ、声明を発表』
「日本大学 1997 年度標準基本給」「講義・授業の一コマから⑩」生物資源科学部 糸井浩司「工学・農学・生命学の統合した新しい考え方の教え」鶴ヶ丘高校 中野優子「授業の中の『天声人語』」
- 10. 13 給対部会、97 年末一時金アンケート集約 723 名
- 10. 24 教宣部会
- 10. 25 高校部会
- 11. 7 年末一時金第 5 回団交、5 次回答 3.2 ヶ月 + 1 万円 + 1 次金 13,000 円妥結
- 11. 11 青婦部会
- 11. 23～24 「星を観る会」青婦部主催 於：理工学部八海山セミナーハウス、参加 45 名
- 12. 3 大学部会
- 12. 6 高校部会
同 船橋支部学習会、「プロジェクト」答申書をめぐって
- 12. 16 青婦部会、スキー交流会の打ち合わせ
- 12. 18 大学部会